

1 学校教育目標
共に学び、心豊かで、たくましい児童の育成

総括的な教育目標を、より具体的な児童生徒や教師、学校の「姿」としてイメージする

2 学校経営ビジョン
 ◎南波多小に通ってよかった・学んでよかったと思われる学校を目指して
 <目指す学校像>①明るく、楽しく、活気のある学校 ②美しく整とんされた学校 ③地域に根ざした学校
 <目指す児童像>①自分の考えをきちんと話す子ども ②人の考えをしっかりと聞き、自分の考えを深める子ども ③人のよさやがんばりを認める子ども
 ④元気にあいさつや返事をする子ども

このうち、特に今年度力を入れるものを絞る。絞りに当たって、特に、前年度、「何ができて、何ができなかったか」を参考にする

3 本年度の重点目標 ①小中連携の拡充 ②挨拶・返事日本一運動の推進 ③開かれた学校づくり ④学力の向上 ⑤心の教育の充実 ⑥健康な体の育成 ⑦使命感の確立と実践的指導力の向上	4 前年度の成果と課題 ・小中連携教育については、公開授業研究会を行い、乗り入れ授業の取組やコミュニケーション能力向上の取組において、高い評価をいただいた。今後は、取組の質と熟成度を高めていくこと、保護者・地域に小中連携の良さを広めていく必要がある。 ・地域支援事業については、町の組織の中に組み入れ、今後も町・学校を中心に取組を継続できるような体制づくりが必要である。 ・コミュニケーション能力を活用し、学力向上につなげていくことについては課題が残るため、講師を招聘して授業研究会を充実したり、先進校視察を行ったりして、指導力の向上を図ってきたい。
---	--

重点目標をそれぞれ再掲し、重点目標ごとに、成果や課題を具体的に評価するためには、どのような評価項目や指標を盛り込むべきかを考える

5 総括表				
① 小中連携の充実				
	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	◎小中連携	小中連携教育の充実	・小中連携に関する保護者評価で平均80点以上を目指す。	・小中連携による授業実践とより良い学習習慣の定着、そして小中合同行事の充実を図り、それを通信や学校HPで紹介したり、授業公開研究会を開催したりするなどして、情報発信し、理解を得られるように努める。
② 挨拶・返事日本一運動の推進				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育①	「挨拶・返事日本一」運動の充実	進んで挨拶や返事ができる児童の育成を目指す。	・育友会活動による保護者職員のあいさつ運動を継続するとともに、児童の地区別登校班のあいさつ運動や委員会活動でのあいさつ運動等、児童の自主的な活動も奨励する。
③ 開かれた学校づくり				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○開かれた学校づくり	地域の教育力を生かす教育の充実	・地域や保護者と学校の連携を密にし、教育効果を高める。	・地域支援事業を活用し、地域の教育力を意図的、計画的に年間カリキュラムの中に位置づける。 ・地域と学校をつなぐ実行委員会の町内での位置づけと、地域ボランティアの組織化を通して、継続して地域の人材を有効活用できる体制を構築する。
④ 学力の向上				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力向上①	主に算数・国語の学力向上及びコミュニケーション能力の向上	・自分の考えを堂々と話したり、人の考えを聞き取り、考えを深めたりすることのできる児童の育成を目指す。	・算数科に積極的に言語活動を取り入れる等、指導方法の研究を深める。 ・スピーチタイムの進め方について研究を深め、内容の充実を図る。 ・通信を発行し、学力向上に向けた取組に対する保護者の理解と協力を図る。
教育活動	●学力向上②	主に算数・国語の基礎学力の向上	・CRT検査に於いて全国得点率を上回ることを目指す。 ・市漢字検定で合格率90%以上を目指す。	・ホップステップジャンプの進め方について研究を深め、内容の充実を図る。 ・通信を発行し、基本的な学習習慣や生活習慣の定着に向けた取組に対する保護者の理解と協力を図る。
教育活動	●読書活動(家読)	読書活動(家読)の推進	・昨年度の一人あたりの貸出冊数119.2冊(全校貸出総数21,352冊)を上回ることを目指す。	・「おすめの本」を紹介することで、量と質の充実を図る。 ・育友会の母親委員会の重点的な取組として読書活動(家読)を推進し、読書の習慣化を図る。
教育活動	●小学校低学年の学習環境の改善充実	基本的学習習慣の育成	・「時間を守る」「整理整頓をする」「話す人を見て聞く」「背筋を伸ばして座る」「宿題をする」の5点を二学期中に全員に徹底させる。	・幼小連携を通して基本的な生活習慣の定着を図る。 ・即時指導、繰り返し指導を徹底する。 ・「生活ががんばりカード」で自己評価をさせ、強化項目の習慣化を図る。

⑤ 心の教育の充実				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育②	人権教育の充実(人権感覚の育成・いじめ・不登校対応)	・人の良さや頑張りを認め、互いを尊重し合える児童の育成を図るとともに、情報化社会に対応した人権感覚の育成を目指す。	・「いのちの教育」指導資料はふれあい道徳を中心に活用し、「伊万里っ子カレンダー」は朝の会で全員で読む。「童謡集」は音楽の学習で活用する。 ・南小「伊万里っ子しぐさ10選」をリーフレットにして、毎月家庭に配付することを通して家庭への啓発に努める。 ・「月のこころ」の取組で児童の心の状態把握に努めるとともに、「心のひろば(全校道徳)」を毎月実施し児童の人権感覚を高める。
⑥ 健康な体の育成				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●健康・体づくり①	食育等を通じた体力の向上と健康の保持・増進	・朝食摂取率100%を目指す。 ・校内体育行事を充実し、児童の体力向上を目指す。	・各学年発達段階に応じ、年2回以上の食育指導を行うとともに、栄養教諭による保護者も交えた食育指導を行う。 ・朝ごはん摂取の定期的なチェックを行い、保護者への呼びかけにも努める。 ・陸上や水泳等の校内体育行事への積極的参加を呼びかける。
	●健康・体づくり②	性教育の推進	・発達段階に応じた性教育を実施し、高学年に於いては、正しい性に関する知識の習得を目指す。 ・心の発達(思春期の心)にも対応した性教育指導の工夫を図る。	・性教育月間を設定して実施し、特に4、5、6年の性教育に重点を置く。 ・理科や道徳等の領域とも関連させ、「性と生」を考える学習を推進する。
⑦ 使命感の確立と実践的指導力の育成				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○学校経営方針	教育目標・方針等の周知	・教職員、児童、保護者、学校評議員、地域への周知を図り、認知度90%以上を目指す。	・教職員は職員会議で、児童は全校朝会で、保護者、学校評議員、地域の方々には育友会総会や学級懇談、学校便り等で説明する。 ・学校評議員会は、授業参観日に実施し、子どもの学習の様子を見る機会をできるだけ多くする。
学校運営	○危機管理	危機管理体制の整備	・職員の危機管理意識を啓発するとともに、危機対応力の向上を図る。 ・流行性疾患に対する早期対応に努める。	・危機管理マニュアルを策定し、周知を図る。 ・災害、交通事故、人災、病気等から身を守る力を高めるための訓練を実施する。 ・手洗いやうがいで流行性疾患の予防に努める等、健康に対する意識と実践力を高める。
学校運営	○教職員の資質の向上	教育公務員としての自覚の堅持とモラルの高揚	・教育職員としての自覚を更に高め、服務規律の保持、資質の向上を図り、「問題発生0」を継続する。	・週1回および随時の職員連絡会や職員会議で服務規律に関する指示や伝達、意見交換を行う。また、信頼される教師の姿について指導を行う。
教育活動	○校内研究の充実	研究授業を通じた指導力の向上	・研究授業や先進校視察を通して、コミュニケーション能力を活用した授業の充実を図る。	・スーパーティーチャーの招聘や先進校視察を通して、コミュニケーション能力を活用した授業の在り方についての研究を深める。

本年度の重点目標の評価項目として含まれていない共通評価項目がある場合に記入する。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○特別支援教育	特別支援教育体制の確立と充実	・校内特別支援委員会を設置し、特別支援対象児童の共通理解とよりよい支援体制づくりを目指す。	・個別の支援計画を作成し、効果的な支援を行うとともに、校内研修で随時情報交換を行い、支援を要する児童に対する全職員の共通理解を図る。 ・児童の実態に応じて関係機関との連携を図りながら支援を行う。
教育活動	◎家庭教育力の向上	「減テレビ・減ゲーム」運動の推進	・早寝カレンダー回収率100%を目指す。 ・保護者による自己評価の該当項目で、平均80点以上を目指す。	・早寝カレンダーの取組を育友会活動の中心に据え、活動の趣旨について保護者の理解を徹底する。
教育活動	○特別活動	児童会活動の充実	代表委員会で決めたことについて、一人ひとりが出番・役割・(承認)を意識しながら、進んで取り組むことができる。	・児童会行事や募集した議題等で年5回の代表委員会を開催し、児童(学級集団)が自主的に出番を作り活動する機会を保障する。

●は共通評価項目、○は独自評価項目